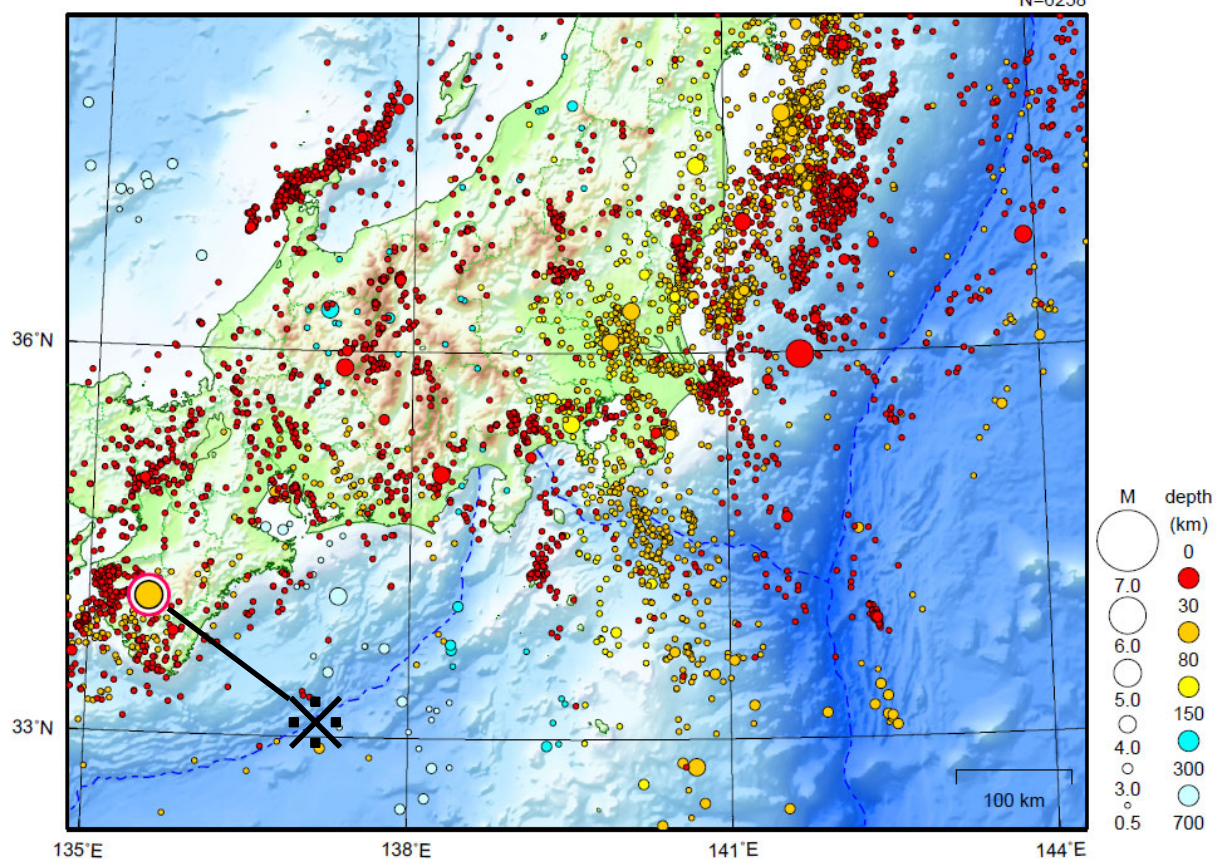


関東・中部地方

2026/05/01 00:00 ~ 2026/05/31 24:00

N=6258



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

(図の範囲外)

5月15日に硫黄島近海でM5.8の地震(最大震度3)が発生した。

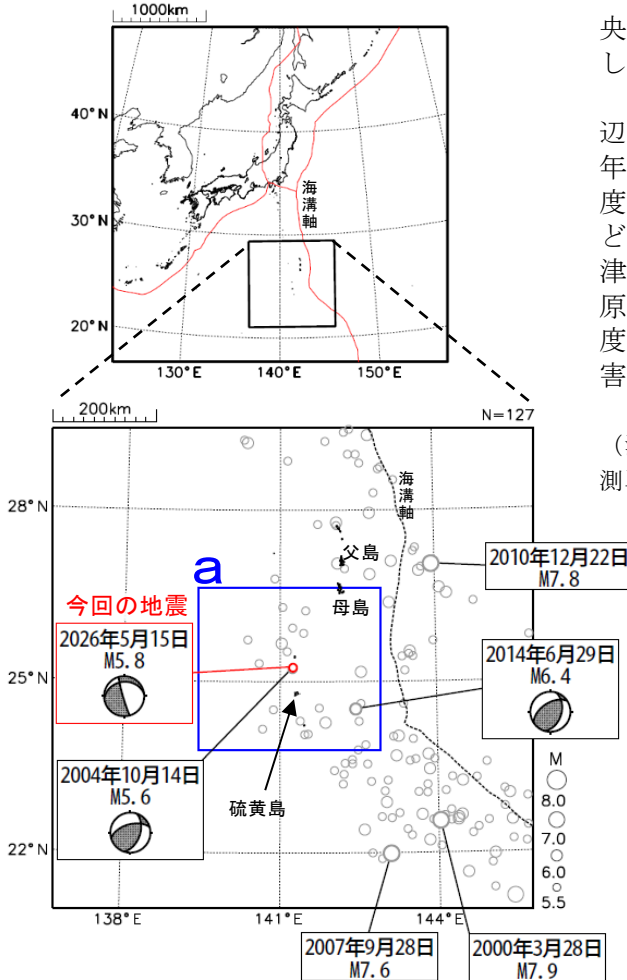
※で示した地震については近畿・中国・四国地方の資料を参照。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

5月15日 硫黄島近海の地震

震央分布図
(2000年1月1日～2026年5月31日、
深さ0～300km、 $M \geq 5.5$)
2026年5月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



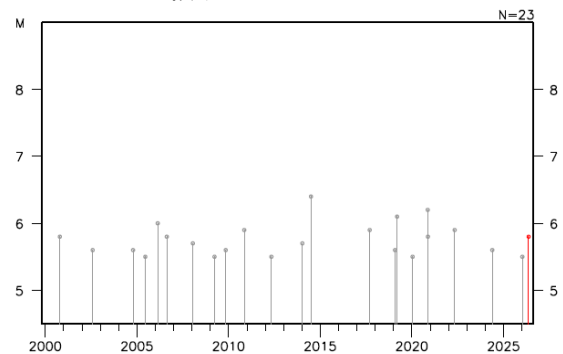
2026年5月15日00時34分に硫黄島近海で $M 5.8$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

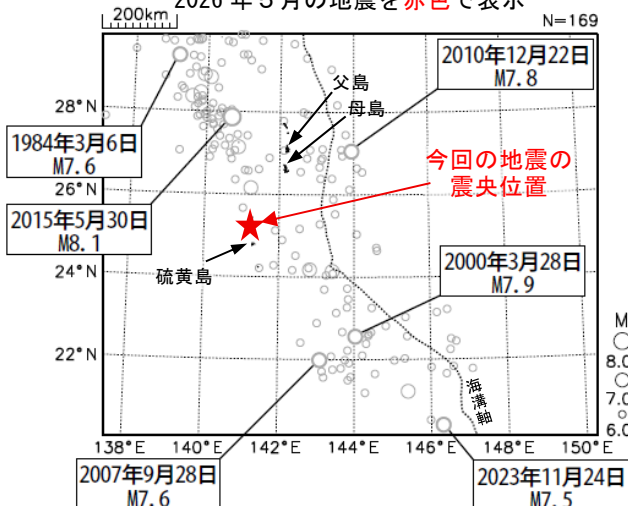
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。2010年12月22日には父島近海で $M 7.8$ の地震（最大震度4）が発生し、八丈島八重根で0.5m^(注)の津波など、岩手県及び関東地方南部から沖縄地方にかけて津波を観測した。また、2015年5月30日には小笠原諸島西方沖の深さ682kmで $M 8.1$ の地震（最大震度5強）が発生し、関東地方で軽傷者8人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

(注) 巨大津波計の観測点により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。

領域a内のM-T図



震央分布図
(1919年1月1日～2026年5月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)
2026年5月の地震を赤色で表示



左図の領域内のM-T図

